

<呼び 75> VST-ADP

V S T 継手 枝管改修用アダプター 取扱説明書

この度は、ダイドレ製品をご使用頂きまして誠に有難う御座います。本書の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。

製品仕様

- 接続可能なVST 継手

1) MD ジョイント (JPF MDJ002:2015) VST-A / VST-B / VST-AL

2) 排水用鉄管 (JIS G 5525:2000) メカニカル形1種管 VST-A / VST-B / VS 継手
差込み形RJ管 VST-A / VST-B / VS 継手

- 既設VST 継手の改修時、袋ナットを除去し、ねじ部に直接取り付けが可能なアダプターになります。
- VST 継手と反対側の接続管種は、VP管(JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管)になります。

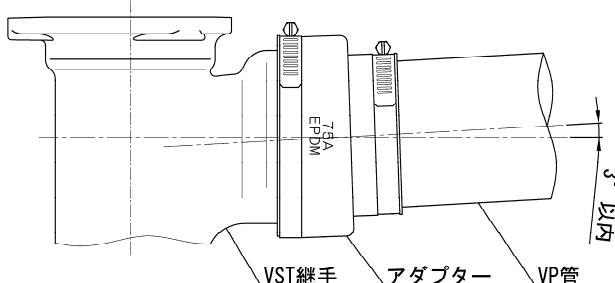
注意事項

製品保管上の注意

- 本品は直射日光、有機溶剤、酸、アルカリ、油等に曝されないように保管してください。
- 保管中は変形の原因となるような重量物を載せないでください。

製品施工上の注意

- 本品は重力排水用になります。
- 本品は屋内配管専用です。屋外では使用しないでください。
- 本品は一般排水用です。薬品等が流れる配管には使用しないでください。
- 極端な曲げ配管は出来ません。排水勾配3°以内で使用してください。



接着剤について

- アダプターとVST 継手・VP管は、接着剤を塗布して接続してください。
- 接着剤メーカーの取扱説明書の記載内容を守ってご使用してください。

【推奨接着剤】

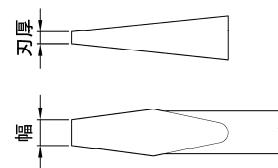
メーカー	製品名
セメダイン(株)	スーパーX
スリーボンド(株)	TB1530

ステンレスバンドについて

- 付属のステンレスバンドは、ボルトの締め込みが止まるまでしっかりと締め付けてください。
- バンドの締付目安 : 0.7 N·m 以上 (※トルク測定は、ドライバタイプのトルクレンチをご使用ください)

【推奨マイナスドライバー】

先端部寸法	
刃厚	幅
1.0~1.2mm	8~10mm



(裏面の取付手順へ続く)

取付手順

下記の手順に従って取り付けてください。

①【取付前の準備】

1-1 接続面(アダプター、VST 継手、VP 管)のサビ、油、水気、ほこり等を除去してください。

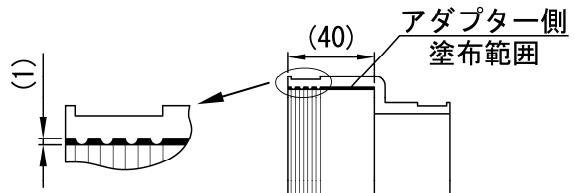
1-2 両側のステンレスバンドのボルトを緩め、バンドをアダプターから取り外してください。

[大]: 継手側バンド, [小]: VP 側バンド

②【VST 継手とアダプターの接続】

2-1 アダプター側の接着する面に、凸が埋まる程度(1mm)の接着剤をヘラ等で均一に塗布してください。

[塗布範囲] 継手側アダプターの端面より 40mm

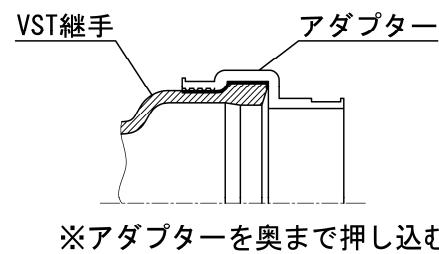


2-2 VST 継手にアダプターを取り付けます。

取り付ける際は、アダプターを継手に押し当て、覆い被せるようにして奥まで押し込んでください。

アダプター側の接着する面に、凸が埋まる程度(1mm)の接着剤をヘラ等で均一に塗布してください。

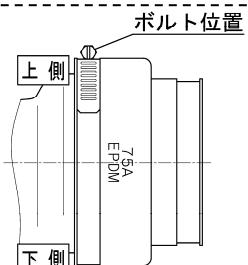
取付後、アダプターを左右に軽く回して、接着剤を均一になじませてください。



2-3 アダプターにステンレスバンド[大]を取り付けます。

2-4 ステンレスバンドのボルトをマイナスドライバーで締めてください。

ボルトの位置はアダプターの「上側」にセットしてください。

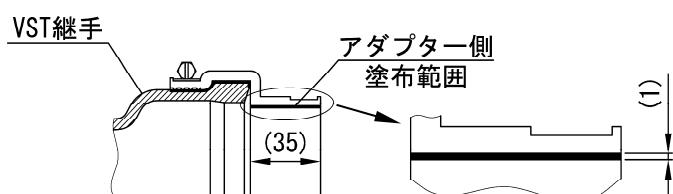


③【VP 管とアダプターの接続】

3-1 アダプター側の接着する面に、継手側と同じ程度(1mm)の接着剤をヘラ等で均一に塗布してください。

(注) 接着剤の塗布後、乾かない内にVP管を差し込んでください。接着剤が乾くと差し込み難くなります。

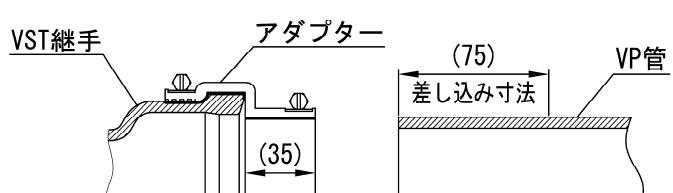
[塗布範囲] VP 側アダプターの端面より 35mm



3-2 アダプターにステンレスバンド[小]を取り付けます。

3-3 VP 管をアダプターに差し込んでください。

差し込んだ後、管を軽く左右に回して、接着剤を均一になじませてください。



3-4 ステンレスバンドのボルトをマイナスドライバーで締めてください。

ボルトの位置はアダプターの「上側」にセットしてください。

